

◎第6学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭で取り組んでいただきたいことです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○区学力調査の平均正答率は、75.5%で区平均を0.1ポイント上回っている。 ○「漢字を読む」問題では、平均正答率が90.3%で、区平均を1.7ポイント上回った。 ●「説明文の内容を読み取る」問題では、正答率が60.7%で区平均を5.5ポイント下回っている。	・文章の読み取りにかかる時間を確保できるよう意識し、目的に応じて文章の要旨を捉えたり、自分の考えを明確にしながら読んだりするよう指導していく。 ☆様々な考え方に触れられるよう、新聞を読んだり、本を読んだりする機会を増やしてください。	
社会	区学力調査の平均正答率は70.1%で、区の平均を0.3ポイント上回っている。 ○「わたしたちの生活と情報」の正答率は84.4%で、区平均を6.9ポイント上回っている。 ●「世界の中の国土」「工業生産と貿易」の問題では、正答率が区平均を5ポイント以上下回っている。	・地図帳や資料などを活用して調べ、重点を理解させる活動を多く取り入れる。 ・社会的事象についての基本的な語句の理解ができるよう復習プリントを用意し取り組む。 ☆国や県名などが新聞やニュースなどで出てきた際、地図帳などを開き一緒に調べてみてください。	
算数	○区学力調査の平均正答率は72.6%で区平均を1.0ポイント上回った。 ○「計算の復習」「分数の計算」「合同・立体」の問題では正答率が80%を超え、区平均を3ポイント上回った。 ●「整数のなかま分け」「分数と小数」「単位量あたりの大きさ」は区平均を下回った。	・日常生活の事象の解決に、整数を小数や分数に換算したり、小数と分数の使い分けを意識させたりして、合理的に判断する活動を充実させる。 ・問題の状況を丁寧に読み解き、その関係を図や数直線などに表して捉えさせるようにする。 ☆何割引きや何%など日常生活で出てきた割合の計算をさせたり、整数を少数、分数に変換して物事を考えさせたり、LをmLやdL、mをkmに換算する活動を日頃から意識させてください。	
理科	○区学力調査の平均正答率は74.0%で区平均を2.1ポイント上回った。 ○「植物の発芽と成長」「魚のたんじょう」「流れる水の働き」「人の誕生」「ふりこのきまり」「物のとけ方」「電流のはたらき」で正答率が区平均を上回っている。 ●「けんび鏡の使い方」の正答率が低く、区の平均を下回っている。	・顕微鏡や観察器具を身近に置くなど、学校や身の回りの自然や理科室を活用する機会を増やし、実験器具の操作を習熟させていく。 ☆理科で学習した言葉や実験の仕方などの定着のために、学習している内容について、ご家庭で話題にしてみてください。	
音楽	○歌唱や器楽演奏の基本的な技能は身に付いている。 ●思いや意図をもって表現を工夫する力が不足している。	・ペアやグループでの活動を増やし、どのように演奏したいかを話し合いながら取り組む場を設定する。 ☆授業で扱った曲や、日常流れている音楽について話題にし、お子さんと一緒に楽しんでください。また、楽器で困っていることがあれば、できるだけ練習に付き合ってください。	
図工	○作るための行程を自分で考え、集中して最後までやりきろうとする意欲が育ってきている。 ●課題についてイメージをもち、自分なりの工夫を考える力が不足している。	・完成作品を提示し、目指す完成度を明確にする。 ・簡単な工程表が作れるように指導する。 ・どんな工夫したらよいか友達と話し合ったり、ヒントを探したりする機会を設ける。 ☆お子さんが図工の授業で経験したことや、展示された作品のことなどを話題にして、共感してあげてください。また写真や映像、衣服や食べ物など身近に感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合ってください。	
家庭	○学習に意欲的に取り組んでいる。 ●日常的に調理をする機会が少ない傾向にあり、調理の見通しをもてないことがある。	・生活実態を把握し、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践力を身に付けさせるために、実習の時間を増やしていく。 ☆学習した内容を実践できるよう、家庭でも機会を与えてあげてください。	
体育	○男女ともに、「平均身長」「平均体重」が全国平均より高い。女子は長座体前屈が全国、都平均を上回った。 ●男女ともに、「反復横跳び」「シャトルラン」「50m走」「立幅跳び」「ソフトボール投げ」全国、都の平均より低い。	・持久走やなわ跳び等の学校行事に積極的に参加できるよう促し、継続して運動できる環境づくりを行う。 ・体ほぐしの運動等、様々な動きを組み合わせることで体育の授業で行い、体を動かす楽しさを感じられるようにしていく。 ☆放課後の外遊びを促したり、休日などを使ってご家族で運動したりする機会をつくってください。できるだけ継続的に体を動かす環境づくりをしてあげてください。	